

少子化の中で、質の向上と確保に向けた、助産師養成数を増やすための方策の提案

助産師数不足に対応した質の確保の方策

- 正常産10例の縛りを緩和し、同時に卒後臨床研修を制度化
- 多数の実習施設に分散し少人数で実習することを前提とした、実習にかかる教員数の増加・確保

看護の質の向上と確保に向けた長期的方策

- 学士課程における看護学教育に対して、**指定規則の縛りを緩和あるいは適用外**→学士課程で3つの看護職(保・助・看)資格取得できる制度維持
- 学士をもった助産臨床経験が豊富な助産師に対する**母性看護専門看護師**(周産期看護領域の高度実践助産師)教育の推進と**母性看護専門看護師の積極的雇用と活用拡大**の推進
- 大学院において、母性看護専門看護師教育、高度実践家教育を受けた**助産師の裁量権拡大**

厚生労働省 看護の質の向上と確保に関する検討会

2008年12月25日（木）千葉大学看護学部 森 恵美



国立大学法人 千葉大学
National University Corporation
Chiba University